

パオちゃん's EYE

2022年3月1日発行 No.60

小坂弘貝類コレクション

昨年夏に小坂弘（こさか ひろむ：1904-1999）氏が収集された貝類コレクションがご遺族から当館へ寄贈されました。小坂氏は岡山県阿哲郡野馳村（現新見市哲西町）に生まれ、長じて小学校教諭となり阿哲郡や新見市の学校に勤務する傍ら、吉備博物同好会、岡山植物同好会、吉備の植物同好会などを主宰し、鯉が窪湿原の湿性植物群落をはじめ、ビッチュウフウロ、オグラセンノウ、ミコシギク、シラヒゲソウなどの調査を行いました。植物分野で著名な方ですが、貝類も収集されていました。

今回寄贈された貝類コレクション（11,162点）は、主に昭和10年頃を中心に岡山県倉敷市下津井や広島県竹原市などで収集されたもので、岡山県版レッドデータブック2020（岡山県編、2020）で絶滅や絶滅危惧Ⅰ類などとされた種の標本を多数含むほか、およそ80年以上前の瀬戸内海の自然環境の様子を垣間見ることができる極めて貴重な標本と言えます。当コレクションが秀逸なのは、標本にいつ・どこで・だれが採集したかを示す基本的なデータがほぼ付けられていることと、巻貝では蓋を持つ種には蓋が付き、二枚貝では左右の殻がそろっており（合弁）、多くが生きていた貝を採集され標本にされている点です。

岡山県で絶滅とされている種としてはウネハナムシロ、ハンレイヒバリ、アゲマキ、ウラカガミ、タマカガミ、ワスレガイの標本が、絶滅危惧Ⅰ類とされている種としてはキサゴ、イソマイマイ、イソチドリ、タマキガイ、オチバ、フジナミ、イソシジミ、フルイガイ、アサジガイ、クチベニ、ホクロガイの標本があります。



ワスレガイ

3階特別展示室で4月10日（日）まで開催の新着資料展にて展示公開しています。

江田伸司(動物担当)

パオちゃんズアイに関するお問い合わせは

倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央2-6-1

電話:(086)425-6037 FAX:(086)425-6038

E-mail:musnat@city.kurashiki.okayama.jp

博物館ホームページには

いろんな情報がいっぱい♪

「倉敷市立自然史博物館」で

検索してみよう！パオより

